

科目名	嚥下障害Ⅱ			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	15 回	時間数	30 時間	2 単位	必修・選択	必須	配当学年 時期
							ST2年 後期
<b>【授業の目的・ねらい】</b> 本講義では摂食嚥下の基本から嚥下障害患者の多様な病態について理解し、スクリーニングや評価方法を理解する。また多くの困難な点に対応するため、それぞれの病態に対し様々な視点からのアプローチ、訓練や治療の実例について学ぶ。							
<b>【実務者経験】</b> ・歯科医師として病院10年、重症心身障害児者施設3年、診療所6年勤務。嚥下障害へのリハビリに従事。 ・兵庫医科大学で歯科医師として、教員として、頭頸部腫瘍術後、口蓋裂を中心に医科主治医やリハビリテーション科と連携して摂食嚥下障害、構音障害のリハビリや後進の育成に従事。 ・管理栄養士、保育士として寺嶋歯科医院に勤務。食形態調整や栄養管理を実施。							
<b>【授業全体の内容の概要】</b> 1. 摂食嚥下の基本を理解 2. 病態別の摂食嚥下障害を理解 3. 嚥下障害のスクリーニングと評価を理解 4. 摂食嚥下障害の対応を理解							
<b>【授業終了時の達成課題（到達目標）】</b> ①摂食嚥下の基本、病態別の摂食障害の特徴や対応方法について理解し、説明することができる。 ②嚥下障害のスクリーニングと評価方法について理解できる。							
回数	講義内容						準備物(教材)
1	摂食嚥下の基本①乳児嚥下と成人嚥下について理解できる						教科書、配布資料
2	摂食嚥下の基本②嚥下の5期とプロセスモデルについて理解できる						教科書、配布資料
3	病態別の摂食嚥下障害①認知症の嚥下障害について理解できる						教科書、配布資料
4	病態別の摂食嚥下障害②神経筋疾患の嚥下障害について理解できる						教科書、配布資料
5	病態別の摂食嚥下障害③器質性嚥下障害と口腔装置について理解できる						教科書、配布資料
6	嚥下障害のスクリーニングと評価①嚥下内視鏡検査について理解できる(実習)						教科書、配布資料
7	病態別の摂食嚥下障害④脳血管疾患の嚥下障害について理解できる						教科書、配布資料
8	嚥下障害のスクリーニングと評価②嚥下内視鏡検査について理解できる						教科書、配布資料
9	嚥下障害のスクリーニングと評価③嚥下造影検査について理解できる						教科書、配布資料
10	摂食嚥下障害の対応①嚥下障害に対してどのような訓練があるか説明できる						教科書、配布資料
11	摂食嚥下障害の対応②嚥下障害に対する食形態の必要性について説明できる						教科書、配布資料
12	摂食嚥下障害と栄養がどのような関わりがあるか説明できる						教科書、配布資料
13	病態別の摂食嚥下障害⑤気管切開と嚥下障害について理解できる						教科書、配布資料
14	摂食嚥下障害の対応③嚥下外科治療について理解できる						教科書、配布資料
15	小児在宅医療について理解できる						教科書、配布資料
定期筆記試験							
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> 標準言語聴覚障害学 摂食嚥下障害学 第2版							
<b>【準備学習・時間外学習】</b> 授業の予習復習を行って下さい。							
<b>【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】</b> 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし60点以上の場合に科目を認定する。							